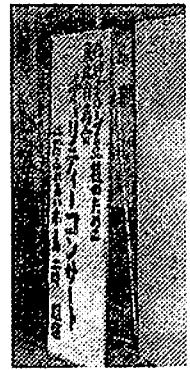


【低肺救済】



第一〇回 チャリティーコンサート

- ◇日時 平成十八年十月七日(土) 午後二時
- ◇場所 仙台市福祉プラザ ふれあいホール
- ◇主催 東北白鳥会チャリティーコンサート実行委員会

◆チャリティーコンサートによせて

東北白鳥会支援のためのチャリティーコンサートと銘打たれた、音楽会も今年で第十回を数えることとなりました。

まだ、「低肺ってなに？」といわれていたときから、いちはやく手を挙げて頂いて、今日ようやく社会に認められるようになり、多くの方々からの支援を頂けるようになりました。まだまだわれわれ患者たちは、多くの苦しみに向き合っておりますが、十年前を考えると、隔世の感があります。

このことは、佐藤ミエ先生、岩城先生をはじめとする多くの音楽家の先生方がいち早く手を挙げられてご賛同頂き、毎年続けてこられたことが、大きな力となって今日を迎えられたものと深く感謝申し上げます。

一言で十年と申しますが、この十年は誠に貴重なものがありました、われわれがどうゆう活動をしていったらよいか悩んでいるときに、いち早く支援の手を挙げて頂いたこととな

り、われわれ前途に一筋の光を抱かせてくれ、力強い味方を得た思いでした。

時移り、はや十年を経過いたしました。が、われわれ前途は、必ずしも平坦ではありません。

多くの支援者のお助けを頂いて、今日もまた、苦しんでいる友人たちを助けるべく力を注いで行かなければなりません。まだまだ多くの山が控えておりまして、これらの山を登って行きながら、この十年のご支援に対し、深く感謝申し上げます。ご挨拶に代えます。

収益金が寄贈され、深く感謝申し上げます

東北白鳥会 会長 渋谷章

◆チャリティーコンサートを終えて

十月七日、前日から降り続いたどしゃぶりの雨に、お客様の出足が心配されましたが、幸いにもお昼頃に雨は上がり、開演時間には陽もさしたきて一同安堵いたしました。

お蔭様で会場はほぼ満席となり、第十回の記念のコンサートとあつて出演者も熱が入り、盛会を収める事が出来ました。会を重ねることに観客の理解も深まり、社会的にも関心をもたれるようになったと実感され、毎年ご来場下さる方も多く感謝の気持ちで一杯でした。

司会は、毎回県会議員の遊佐みゆき先生が透き通る声で、ボランティアで受け待って下さり、コンサートを一層もりたてて下さいました。

第一部、玉懸さん、長久保さんの朗読から始まりました。心に

染みる次木のり子の作品に、会場はしーんと静まりかえり聞き入
つておりました。

続いで二重奏は、円熟味を増し素晴らしいソプラノを聞かせて
くださる佐藤ミエ先生と、若い土井さちさんのアルトが見事にマツ
チして、美しいハーモニーで、忘れられない日本の歌曲を歌って下さ
いました。



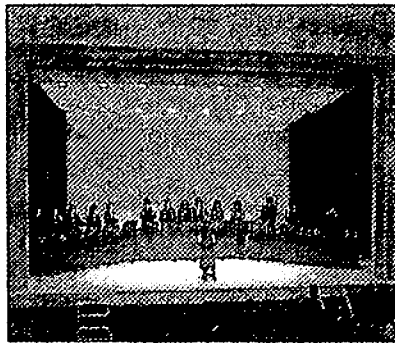
趣向を変えてフルート演奏は小幡清美さんの優しい音色でうっ
とり……

次は、宮城学院高等学校在校生によるハンドベルクアリア、ハンド
ベルOG会の方達が一緒に、一五名によるハンドベルアンサンブ
ルです。幾つもの大きさも、重さも違うハンドベルを巧みに操って、
美しい演奏を奏でて下さいました。



第二部はお馴染み、白鳥会会歌「明日の空へ」を岩城美和先生
が歌って下さいました。一緒に歌って下さる声会場から聞こえて
きて嬉しくなりました。

続いて岩城美和先生のソプラノ独唱です。解説をして下さるの
でオペラのアリアも内容を理解する事が出来て、主人公になりきっ
ている娘姿が可愛くて楽しく聞かせて頂きました。



最後にマリンバの演奏です山本郁子さんの明るく伸びやかな演奏に、観客はすっかり引き込まれました。



フィナーレはステージと観客の皆さんが一緒になって、この季節にふさわしく「赤とんぼ」の大合唱です。

午後の雨上がりの二時間、楽しく充実した内容のコンサートでした。皆様にご満足して頂けたと確信しております。

お足元の悪いなかご来場下さいました大勢のお客様に、心から感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

そしてお忙しいなか、スケジュールをやり繰りされてご出演下さいました先生方に厚く御礼申し上げます。報告させて頂きます。

事務局 松尾 貞子

◆ チャリティコンサートに感謝

十月七日は東北白鳥会のチャリティコンサート、前日からの激しい雨が当日の朝になつても降り続き、どうなることかと心配いたしました。が神様のお助けか、十二時過ぎ頃からそのように晴天となり、開演間近にはほぼ満席状態に、関係者一同ホット安堵の胸をなでおろし喜びのうちに開演となりました。

今年第十回のチャリティコンサート・・・ひと口に十年と申しましたが、振り返ればいろいろな思い出をかみしめました。



毎回司会のご奉仕をして下さいます県議会議員の遊佐みゆき先生は、深紅のドレスが良くお似合で、先生の明るい爽やかな司会で綴帳が上がりました。

玉懸さんと長久保さんのしつとりとした朗読のあと、佐藤ミエ先生と、土井さちさんの美しい鈴の音を思わせるような歌声の「小さい秋みつけた」などで、観客の郷愁を誘いました。続いてフルートのあの音色、その後、十五名による宮城学院高等学校の生徒さんのハンドベル演奏での賛美歌三二二番「いつくしみ深き」は、パイプオルガンとは



趣きが違い、どこからか静かに湧いて来るような調べに感動いたしました。

十年間歌え続けて下さいました岩城美和先生の東北白鳥会会歌「明日の空へ」もすつかり定着し、感慨深いものを覚え、胸の熱くなる思いで聞かせて頂きました。

マリンバの山本先生には昨年が続いてのご奉仕、私達に馴染み深い「ロンドンデリーの歌」や「ずいずいずいころばし」など、見事な手さばきに唯々脱帽でした。

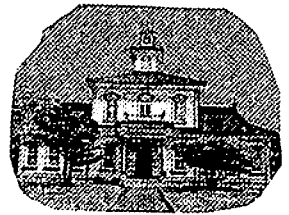
今回もしかりですが、ご出演者皆々様のご熱心な演奏の賜物とでも申しましょうか一年一年支援の輪が広がり、低肺患者への理解も深まって、盛会理に終わりましたこと本当に感謝でした。

酸索ボンベ持参でおいで下さった方々楽しんで頂けたでしょうか?・・・また体調の方は大丈夫だったでしょうか?・・・どうぞお大事になさいますと・・・またの機会にお目にかかれまことを願いながら、私達ボランティアも心地よい気分でご会いました。皆様本当にありがとうございました。



事務局 飯田 澄子

山形県支部便り



致道博物館（鶴岡市）

山形県支部長 吉田 清治

会報（白鳥）一八一号にて紹介しました、呼吸器障害者の自己管理のために、山形県支部でパルスオキシメーターを整備し、貸出し制度を進めておりましたところ、過日、前支部長夫人 小野瀬淑子様から「パルスオキシメーター」五台の寄贈を頂きました。嬉しいやら、びつくりするやら、心より深く感謝を申し上げます。

早速、会員の皆様に利用して頂きたいと思い、貸出し制度を始めましたので、紹介させて頂きます。

東北白鳥会山形県支部で「パルスオキシメーター」貸与制度を始めました。どうぞご利用下さい。

※ 希望者に順番に貸出しますので、吉田支部長まで申し込んで下さい。



◎ その時、貴方の酸素は大丈夫ですか？

パルスオキシメーターは、散歩する時に簡単に持ち運びができる

小型軽量で、歩いていて息が苦しく感じられた時、これを利用することによって、休息が必要か、テノボを遅く、又は早くしても良いかが、簡単に、体内の血中の酸素の程度を測定できます。

退院したての方の自己管理や、在宅酸素療法を行っておられる方の、一日の働きをパターンごと（入浴時、食後、通院、労作時等）や、ドキドキハカハカした時の自分の状態を測定記録しておく、次第におおよその見当がついてきます。

勿論、酸素療法で、苦しさが緩和されるのも、数値の上でも簡単に測定できます。一番有効なのは、変化があれば測定し、すぐ主治医に「電話で現在値」を報告できるために、手遅れになる危険が解消されて、安心して在宅で過ごせます。

リハビリに、社会復帰に、会員一人一人に一台ずつ持ちたい品ですが、軽量小型精密のために高価なものです。……皆さん大事に使用しましょう！



三居倉庫（酒田市）

会員の便り

リハビリで絵を描いています

仙台・太白区 松岡 信子

残暑お見舞い申し上げます。

この度は、会報をお送り頂きまして有難うございました。また、一〇月のコンサートの招待券も頂戴し、重ねて厚くお礼申し上げます。

肺の病気については、本当に何も分からず、今までの生活とはすっかり変ってしまうような今後に強い不安を感じております。会報を拝見し、表紙の白鳥のフォトはステキですね。とても癒されます。私は長年のリウマチで、全身の関節が痛んでおりますが、リハビリで絵を描いています。

MSという難病の患者さん達と「レットKもソキテイ」という会を作り、毎月一回、福祉プラザで打合せしています。リハビリや趣味で作ったり描いたりした作品の展示会を、九月六日〜十二日に福祉プラザ二階ロビーで行います。障害を持ちながらも前向きに生きてい……という人たちの作品です。

今後とも、いろいろご指導下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

仙台・青葉区 高橋 道子
チャリティーコンサートの盛会を祈っています

前略御免下さいませ。

本年度のチャリティーコンサートのお知らせ頂戴致しておりましたが、主人が入院加療中でしたのに、私も骨折してしまい入院中のごさ

ます。甚だ勝手にございますが今年はこの協力致しかねますことを、伏してお詫び申し上げます。

会のご成功をお祈りいたしております。

千葉県 市川市 佐藤 博子

負担軽減の実現を

八十二才の母を自宅で介護しております。母は私が二十五才の時、鳥取大学付属病院で結核のため、片肺を切除し片肺のみで生活してきましたが、十四年前から肺機能が低下しはじめ一人娘の私のもとで同居し、今日に至っております。

その間、十八回の危篤状態、二十四回に及ぶ入院の繰り返し、また、訪問医師の来宅を待たず、私が直接病院に担ぎ込んだり、救急車を呼んだりといろいろと大変でした。在宅酸素代、病院、薬、ナース、ヘルパー、電気代等に支払いに大変です。

当然国民年金と遺族年金では足りず、私も働いており、家族みんなで母の医療費をカバーしており本当に大変です。

在宅人工呼吸患者の経済負担軽減の実現を是非お願い致します。

秋の花



(ふきのはな)



(くじゃくそう)



(きぎく)



ボランティア便り

もう一つのボランティア



フルキャスト宮城
(正面入口)

いま日本シリーズの日本ハムファイターズと中日ドラゴンズとの試合をテレビ観戦しながら、思いがけず一時的なもので、今シーズン「フルキャストスタジアム宮城」に通い、プロ野球のお手伝いをする事になろうとは、去年の今頃思いもしなかったことと、改めて人生面白いと感じ入って、ペンをとる気になりました。

白鳥会のボランティア募集の新聞広告を見て、なんとなくお手伝いできそうかと思つて応募したのと同じように、今年一月新聞紙上で楽天野球団のボランティア募集を知り、年令制限がないことを確認して応募したのが始まりでした。三月末の開幕戦から早速、エグゼクティブでのボランティアが始まりました。去年から始まったゴミの分別活動で、他の球団のみならずスポーツ競技団体から注目されている活動です。年間を通じて、最低の参加活動を義務づけられませんが、あとは自分の都合に合わせて出来る範囲で、活動すればいいことです。

私は月三回のペースで、自分の都合に合わせて活動日を申告して球場に通いました。最初は開幕戦、寒い雨の日、途中で中止になりました。その後雪が降った中での試合もあり、さすがは東北のホームゲームということになりました。

一シーズン今まで考えたこともなかった野球界のことです。普通の

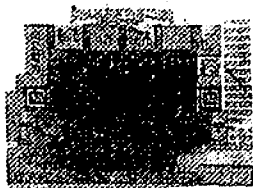
ファン以下の興味しかありませんから選手の名前も知りません。ただ決まった日にスタジアムに行つて、その日の持ち場で試合開始前から終了まで、お客さんが持つて来るゴミを仙台市の規定に沿つて分別仕分けして、少しはお客さんにその分別意識を持つてもらふように、仕分けを指示することが仕事です。自分でも、家庭ゴミの分別などいい加減だったところがあつて、フルスタに行つてはじめて教えられたこともありました。一シーズン無事にボランティアとして活動を終えたとき、春から夏の暑さも秋のすがすがしさも、一時のほんのひと時の経験でしかなかったと思ひました。

先日、ボランティアだけの芋煮会で会つた皆さんも、来シーズンもまたやりましょうと元氣一杯だったのは、私を除いて皆さん野球が大好きで、また楽天イーグルスを自分のチームとして愛している証拠だどつくづく思い知らされたことでした。

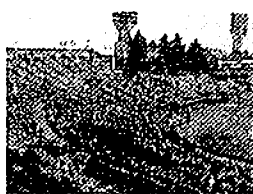
日本ハムファイターズが北の大地に根を下ろしたように、宮城の大地に楽天イーグルスが根を下ろし、いつの日か日本シリーズを戦う球団になつて欲しいと期待を持つて、またお手伝いをしようと思ひます。もちろん毎週水曜日は福祉プラザの白鳥会も続けて行くつもりです。

来シーズンまたフルスタに行くことになりましたら、知りえたニュースを書いて見ましようか……

ボランティア 高橋 明子



スコアボード

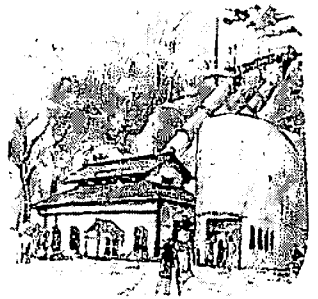


観客席 (三塁側)

“日本初の水力発電所”

さんきよさわ

【三居沢発電所】



先日、某ラジオ放送で、「青葉城恋歌」に唄われる広瀬川にある発電所を取り上げておりました。そこで三居沢発電所を紹介して見たいと思います。

■三居沢発電所

広瀬川の水を動力として使用する三居沢発電所は、全国でもまれな市街地にある発電所で、日本初の水力発電所として、東北では初めて電灯が灯されてから一〇〇年以上の歳月経ちました。

現在は出力一〇〇〇KWの水力発電所と配電用変電所として、変圧器出力三〇〇〇KVAの能力をもちます。昭和五十三年（一九七八）から無人化され、錦町技術センターから遠隔監視・制御されています。

■三居沢発電所の歴史

・ 明治二十一年（一八八八）

宮城県紡績工場内の水力を利用して、出力五KWの直流発電機で、工場内五〇灯、烏崎山に一灯のアーケ灯がとます。

・ 明治二十七年（一八九四）

三居沢発電所を利用して仙台電灯株式会社が電灯事業を開始。仙台市内に三六五灯の電灯をとます。

・ 明治三十三年（一九〇〇）宮城県紡績電灯株式会社により、

出力六〇〇KWの発電機が設置される。

・ 明治三十五年（一九〇二）

三居沢で日本最初のカーバイドの製造に成功。

・ 明治四十二年（一九〇九）

現三居沢発電所運転開始。（発電出力一〇〇〇KW）

・ 大正元年（一九一二）

仙台市電気部に譲渡。

・ 昭和十七年（一九四二）

東北配電に継承。

・ 昭和二十二年（一九四七）

変電設備を設け、現在の三居沢発電所の形態となる。

・ 昭和二十六年（一九五一）

東北電力に継承。

・ 昭和五十三年（一九七八）

遠隔監視・制御により無人化される。



※ 発電所の隣に「三居沢電気百年館」があり「三居沢電気

百年ギャラリー」と「水と森アトリエ」で、発電所の歴史や広瀬川の水と、その源である青葉山の豊かな自然を紹介しております。

※ 春は、桜でも有名なところです。

※ 交通 JR 仙台駅より車一五分

市営バス 三居沢交通公園前 下車徒歩三分

◆◆ 話のタネ ◆◆

「三竿の親娘」(さんかんのおやい)

參觀の親子ではない。珍しい言葉もあるもの「三竿の親娘」と書く。三竿とは、寝坊という意味。

朝が来る。　　朝顔や　その日その日の　花の出来　　という夏の朝もあれば、　　跳び上げて　耐えて見事な　竹の雪　　のような寒中の朝もある。

このいずれの朝も、吾れ聞せずの母と娘の、日々の暮らしを称して「三竿の親娘」。なぜ三竿？　大正の初めのこと、それは自堕落な、怠け者の母と娘がいた。娘の名はマリヤ。ある日、突然、知人が尋ねて来て、「まあ、マリヤさん十六才におなりになって？　美貌とは伺っておりませんが、脚くばかりで、もう、少女でなく立派な女性、淑女ですわ」と社交辞令。・・・

確かに、胸のふくらみも程よく、行き交う男性なら十人中のうち十人が振り返ることと想像に難くない容姿。

ところがここで、尋ねて来た婦人、吸った息を吐くのを忘れた。マリヤさん、急に大あくびしたかと思うと、頬杖を突いて「眠い、眠い」の連発。「そう、眠いわねえ、これを食べてから、又お眠り」とおかあさん。

マリヤさん、皿のモノを投げ遣りに突つき散らして、頬杖のまま「眠い、眠い」。見るに見兼ねた母親が、客の婦人に弁明を始める。

「だってマリヤはまだ十六才ですもの。無理なのですわ」

　　少しづつ　母手伝って　悪くする　　

の例えどおりに悪習を付けていく母親。

いつのまにか、客の前でも頬杖を付く習慣。胸の前に腕胡坐を組む癖。仏頂面も板に付いて、その年令三十才。この年まで、他人に優しくしたこともなく、人のために汗を流した経験皆無。

まして、咲顔で語りかける日など一日としてなく三十。許してきた母親六十五。今朝も朝寝の限り、惰眠を貪ってきた娘に、「ご機嫌如何？　・・・あなたも、もう三十、いつまでも若くないし疲れるでしょう？　さあ、私の安楽椅子にお座りなさい」娘に甘すぎことを、我が子に対する深い理解だとする母親と、自堕落奔走な娘の朝が、明日も続いても、だれも不思議には思わなかった。

　　習慣とは第二の天性、癖となる　　

　　ということを人々は熟知していたから。

三竿とは？　朝。物干し竿を縦に三本もつなぎ合わせる程の高さに太陽が上がつた頃、起き出すこと。聖母マリヤならぬ三竿の娘マリヤのはなし。

「水と砂と怠惰は良く似ている。気がつくとも沁み通っている」と言ったのは、木下藤吉郎時代の秀吉だが、年を重ねて、皺と襲の一筋ひとすじ沁み通り、堆積した怠け砂。

三竿の母と娘も、それを取り除こうとしたことがあったかも知れない。しかし、怠け砂は、水分を帯びて深く沈着してしまっていたにちがいない。

(榎さんの人生現品限りから転載)

「花柳雅好舞いそめ」

お知らせ

新春恒例の「舞いそめ」の会が、次の通り開催されます。花柳雅好先生には、当会の低肺患者支援活動に深いご理解をお持ちになられ、14年の長きにわたり、新春「舞いそめ」の会をチャリティーとして開催して下さいますことは、心から感謝を申し上げます。

つきましては、本会の盛会と花柳雅好先生始めご一門の皆様のご支援にお応えするには、多数の方々のご来場されますようご協力頂きたいと存じます。どうぞ皆様お誘い合わせの上、是非お出掛け下さるようお願い申し上げます。

- ◎日時 平成19年1月21日(日)
閉演10時30分
- ◎場所 電力ホール(仙台市青葉区)
- ◎入場料 500円

編集後記

◆ 十回目という節目のチャリティーコンサートは、大盛会のうちに終了することが出来たのは、実行委員の方々をはじめ多数の出演者の皆様方のご支援とご協力によるものであり、ここに改めて感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

◆ 先日、所用で青森に行つた時のこと、新幹線から在来線の特急に乗り継ぎの際、慌てて乗つた車両は自由席の喫煙車、受動喫煙にさらされ息詰る思いをしながら我慢、とうとう禁煙車に移つたものの満席、終着駅まで立ち通しました。

しかし、車両を往復する車掌や販売員によって、たばこの煙の粉じんが喫煙車から運び込まれ、禁煙車でも受動喫煙していることを感じました。来春には、JR東日本の新幹線と在来線特急の車両を、全面禁煙(一部寝台特急等を除き)とするのとことです。…(健康増進法では、多数の人が使う施設の管理者に、受動喫煙防止を義務付けられています。)

◆ もう十一月、庭の小菊がきれいに咲き、白鳥の飛来の情報もあります。寒さは日一日と増して来ました。風邪は呼吸器疾患患者さんには大敵、インフルエンザの予防接種を受けるようにしましょう。会報(第一八三号)でお知らせのとおり白鳥会では、会員皆さんに予防接種費用の一部を助成していますから、領収書(コピーでもよい)を送って頂きたいと思ひます。既に医療機関では予防接種を行っております。どうぞ、風邪などひかぬようお身体を大事になさって下さい。

(事務局 1:0)

《自己負担軽減の署名にご協力をお願いします。》

ご入会の方法と会費納入のお知らせ

会員又は賛助会員にご加入の方は、左記事務所にご連絡下さい。

◎ 会費 入会金 千円 年会費 三千元

仙台市内会員は年会費 三千五百円

(仙身協会費五百円含む)

◎ 事務所

仙台市青葉区五橋二―二―二

仙台市福祉プラザ8F 東北白鳥会

電話・FAX 〇二二―二六三―二五〇二

(常時は留守電、毎水曜日に受けています)

ホームページ

<http://www.geocities.jp/hakutyou1984>

Eメール

sawanthk@yahoo.co.jp

* 郵便振替

口座番号 〇二二〇〇―四―〇〇六七四五

* 銀行振込

七十七銀行本店 普通

口座番号 一〇〇―五三七二八二八

◎ 山形県の方は

事務所 山形市印役町一―二―三五

東北白鳥会山形県支部

支部長 吉田 清治

電話 〇二三―六二四―五〇六〇

* 郵便振替

口座番号 〇二二五〇―五―三七〇〇二

* 銀行振込

山形銀行鈴川支店 普通

口座番号 六三一―六一二

(恐れ入りますが、振込用紙で受領書に代えさせて戴きます。)